

平成31年度（令和元年度） 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

家庭科

	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
5年	<p>○初めての調理実習や裁縫等に意欲的に取り組む児童が多い。しかし、作業に夢中になるあまり、教師の話聞き逃している児童も見受けられ、学習で得られた知識や技能を生活に生かすことがまだ十分ではない。</p>	<p>○自分の生活に直接結びつく事柄に気づかせながら指導する。家庭での実際の活動を重視した指導をする。</p>	<p>○基礎・基本がしっかり身に付くよう、学習環境を整えながら指導し、自分の技能を実生活に生かせるようにする。 ○家庭での生活を具体的に想起させ、常に学習と実生活を関連させた授業を展開する。</p>	<p>○家庭で実践したことを発表する学習を取り入れた。 ○実践したことで、自分の生活に結びついていることに気づくことができた。また今後も実践したいという意欲が見られた。 ○基礎・基本が身につくように年間計画を見直し技能の時間を確保するようにする。</p>
6年	<p>○調理したり、洗濯をしたりといった実習を好み、それらに意欲的に取り組む児童が多い。 ○学んだことを実生活に生かそうという姿勢が見られる。</p>	<p>○自分で生活していくという意識を高め、実習への興味・関心をさらに伸ばすとともに、作業の工夫や道具の使い方、食生活や住まい方についての基礎的な理解を深め、必要な技能を身に付けさせる。</p>	<p>○児童の実生活に関連した学習資料を用意し、実践的な指導をすることで、より実生活に生かしていけるよう指導する。 ○他の意見から新たな発見をし、学べるように、グループ活動や全体での発表の場を多く取り入れる。</p>	<p>○自分や身近な人々との生活や環境との関わりについて体験を通して考える活動を取り入れた。 ○グループや全体での発表の場を多く取り入れた。 ○学んだことを、継続的に実生活に生かせるように、工夫した指導を行う。</p>